

— A列車から天草へ、海の玄関口整備—

## 三角東港広場の景観整備

天草への海の玄関口であるJR三角駅前の三角東港広場において、A列車と連携した賑わいのある空間を創出するため、整備計画素案を策定しました。

今後、地元関係者とのワークショップを開催し、早期整備に向け具体的整備計画を策定していきます。

### 【これまでの経緯】

H21.4 (株)シークルーズが三角・本渡間の定期旅客船を就航（天草宝島ライン）

H23.10 JR九州がA列車の運行開始

H24年度 熊本大学の技術協力を得て計画素案策定

H25.3 (株)シークルーズが新型船（3隻目）を導入

※三角港の乗降客数 H20：5,459人 → H24：34,769人

### 【計画の概要】

海の玄関口として、A列車で駅に降り立つと、海が見えてワクワクするような空間として、また地元住民の憩いの場、来訪者との交流の場としての整備を目指すもの。

○三角駅から船着場までの歩行者動線の整備（シェルターの連続的な整備）

○物産館ラ・ガール、海のピラミッド、既存緑地との一体的な利用を図る広場の整備



### 【今後の予定】

- ・地元住民とのワークショップを開催し、景観整備計画のとりまとめ（5月～）
- ・とりまとめた景観整備計画に基づき、実施設計、工事実施

#### お問い合わせ先

土木部 河川港湾局 港湾課  
原、植野（内線6156）  
（直通 096-333-2516）